

こだい エジプト のひまわり



木太 小学校

三年 大月 よね

週 べたきっかけ

れきしがすぎでれきしのま

んがを読んでいてク

レオパトウを読んでん

だときにおもしろ

くてはまってしま

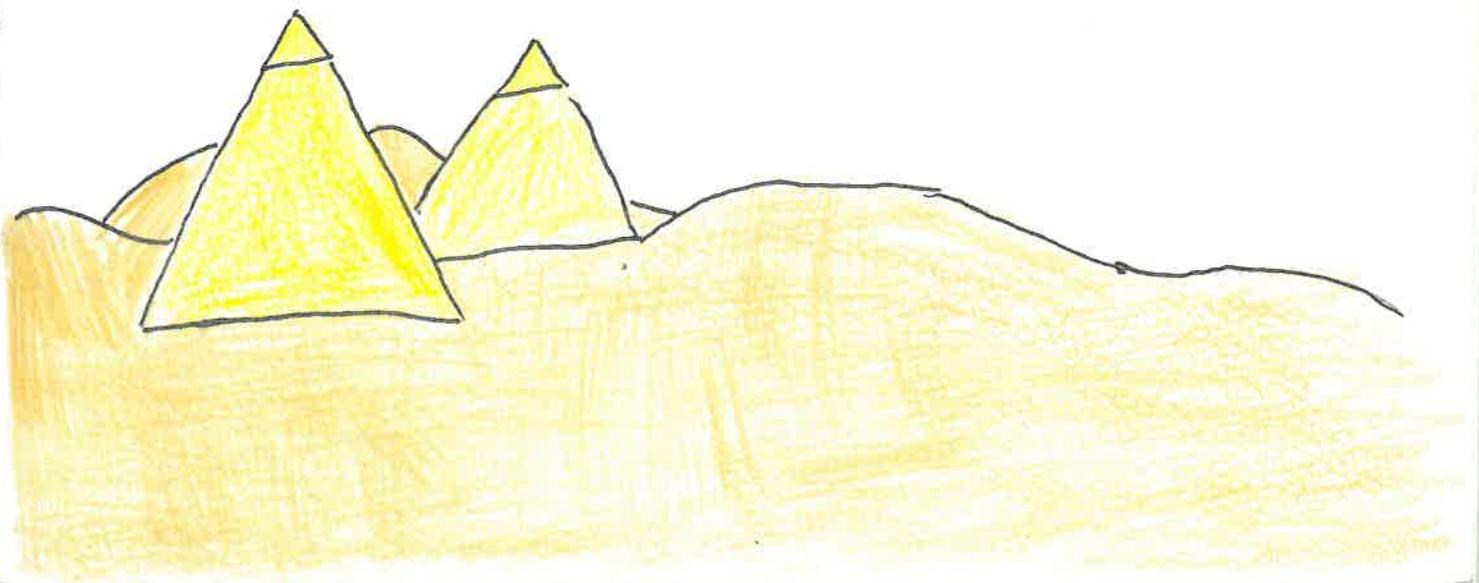
ました。

もくじ

1 ピラミッドについて

2 ミイラ

3 人物しょうがい



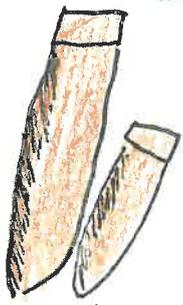
ピラミッドのおはかの考えかた

おはかをつくるための2つの
きのうががある。

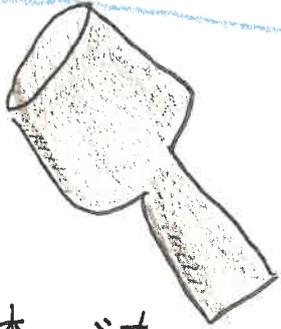
- ① しぜんのさまざまなか
からまもる。
- ② こうかな物ふくそうて
んなどたましいがすみやすい。

王は死ぬとかみになるのでお
はかは大きい。

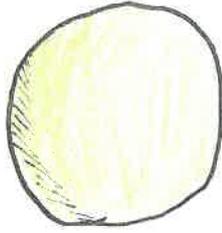
ピラミッド作りの道具



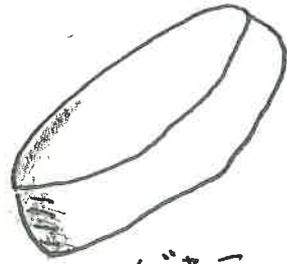
石切りのみ



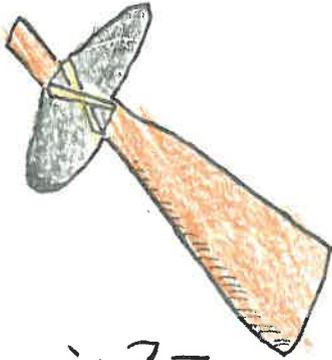
木づち



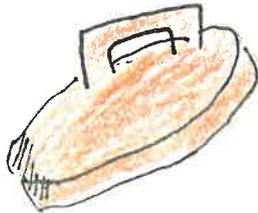
ドライトきゅう



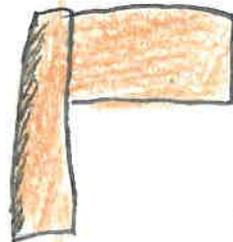
みがき石



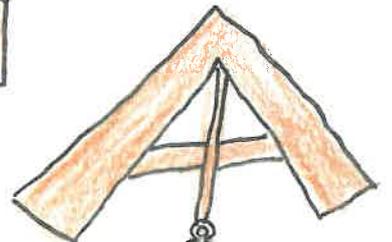
ハンマー



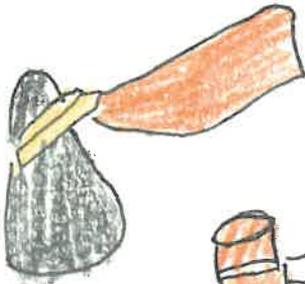
こて



ちゅうかくじょうき



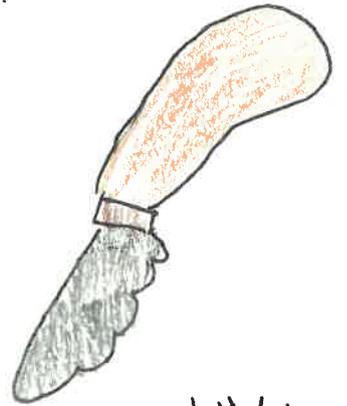
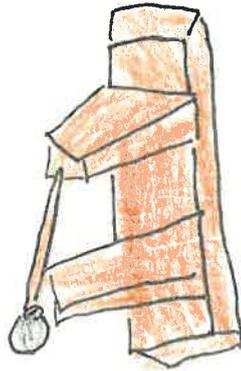
水じゅんき



ちゅうたふ



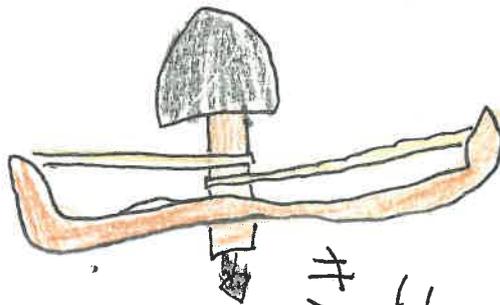
水へいがん



のこぎり

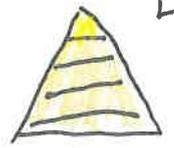


のみ(木)



きり

ピラミットのつくり方



四

ピラミットはほとんど石灰岩でできている。

- ①北のほうがくをしっかりとくにん。
- ②へやをほる。(つうろも)
王のげんしつをほる。(すいへいに)
- ③石をきりだす。
- ④石をはこんでピラミットをつくる。
- ⑤ひょうめんをみがけばできあがり

ピラミッドのへや

② 大回り
 ピラミッド内でさいたのくうかん。上にいくほどせまく石のおもさにたえられるようになってる。

① 入り口
 かんせいしたときは石でふさがれていて入口だとわからなかった。

④ ファラオの間
 ピラミッドのほぼ中央につくられている。大きなくうかん。ファラオの石棺がある。

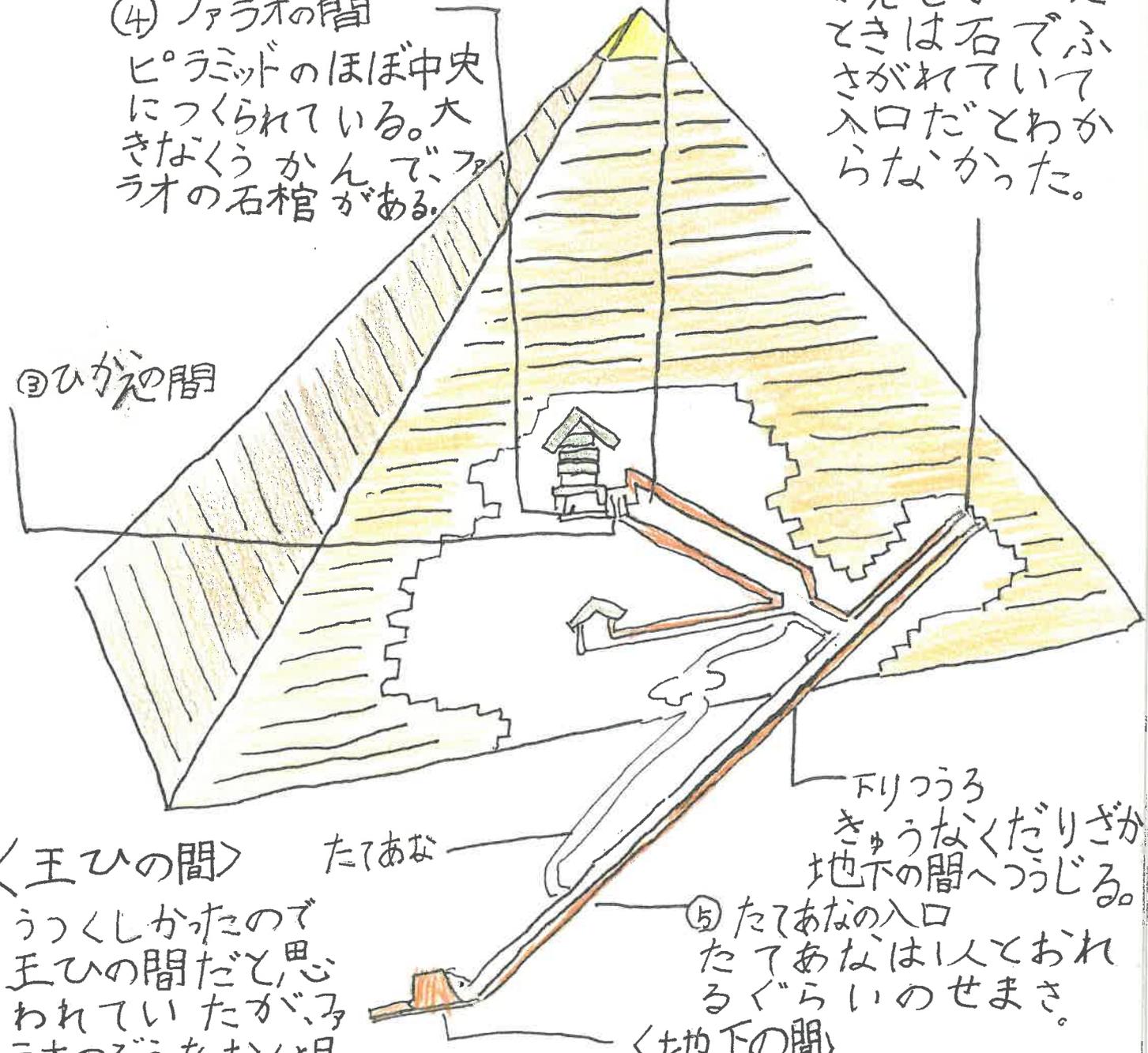
③ ひがしの間

〈王ひの間〉
 たてあな
 うつくしかたので王ひの間だと思われていたが、ファラオのぞうをおく場所だというせつもある。

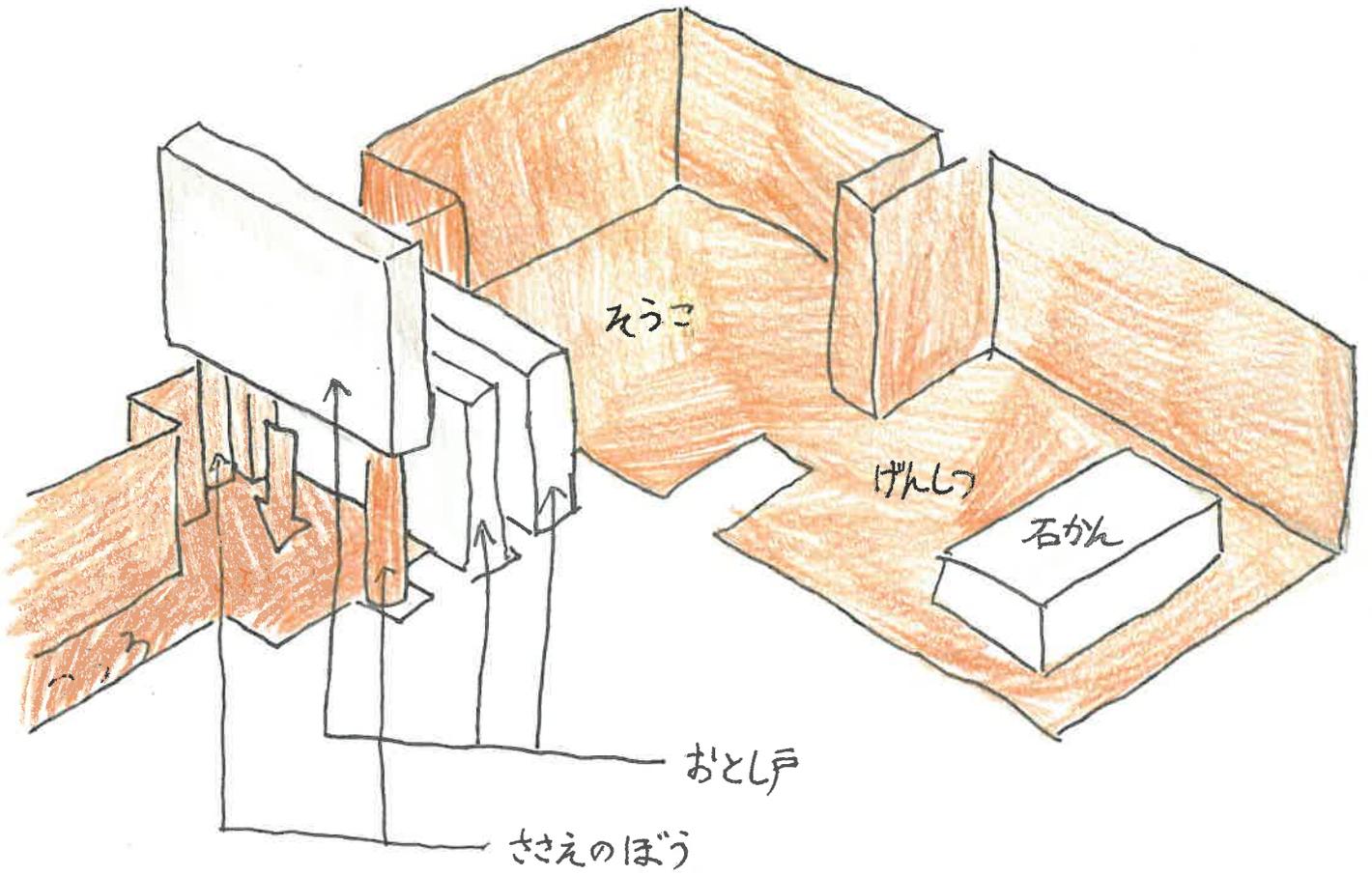
フリつうろ
 きゅうなくだりぎか地下の間へつうじる。

⑤ たてあなの入口
 たてあなは1人とおれるぐらいのせまさ。

〈地下の間〉
 地面をほってつくられているのでどうくつににている。



おとしど



げんしつとつうらの間に
 おもくてあつい石の戸を
 して、どろぼうがはい
 ってくるのをふせく。

ミイラについて

ないぞうは、石などでできた カノポスツぼ
という つぼに入れられていた。



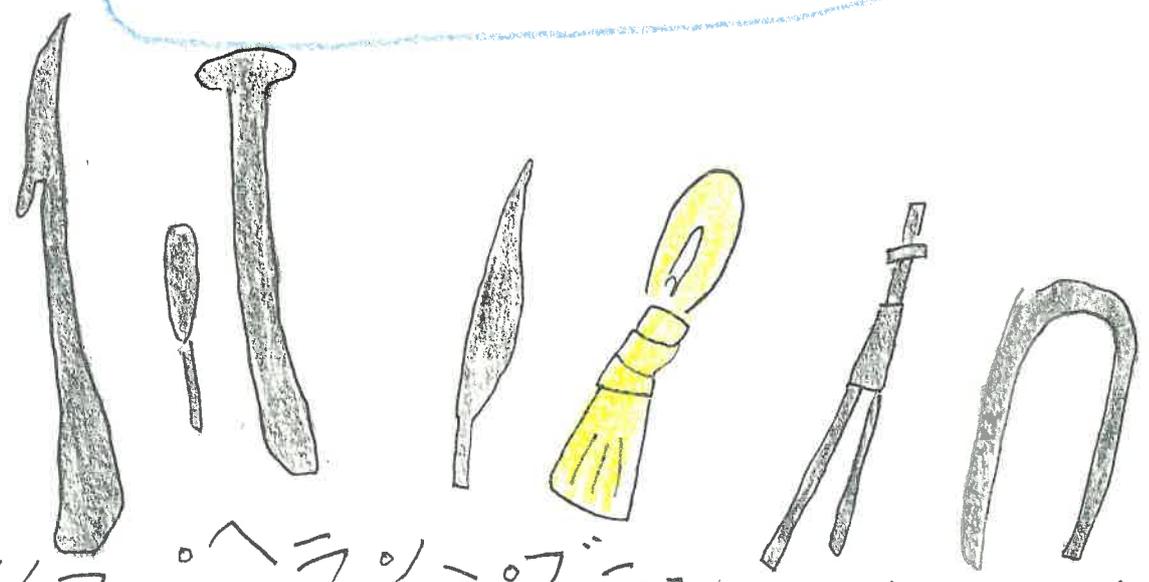
ヒトの豆頁部
をもつイビ^イ神の
つぼにはいをいれ
てまかんした。

シヤカルの豆頁部
をもつドゥアムトエフ
神のつぼにはい
をいれた。

イムセテ神のつぼに
は、かんぞうが入れ
られた。

ハヤフツサ豆頁部をもつ
ケベフセヌエフ神の
つぼにはちょうを入れ
られた。

ミイラづくり
— どうく —



。ナイフ 。ヘラ 。ソミ 。ブラシ 。シャフト毛ぬき

。ナトロン

ぞうきをえきたいのナトロンであらい、こなの
ナトロンでおおう。体のそともえきたいでき
れいについた。体をかわかして、汗をたもつ
ため、ナトロンが入ったふくろを体の中につめた。

。ヤシ酒 くだいたスパイスをといたえきたい
空どうになつた体内をゆすいた。

。リネン(あさのぬの)。

木のぼうのさきにまいて、体の中のくぼみを
ふいた。

ミイラづくり②

2

王にふさわしいほうほう
ゆうふくな人のためにつくられた。

のうをとりのぞく



いたいをきれいにあらいのうがとりのぞかれた。
はなからさきのまがったほうをおくまでさしこみのう
をぬいた。そして、のこったえき本をいはなから流した。

ないぞうをとりのぞく

いろいろな内ぞうがとりだされた。
だがじぞうはたましいきおくちせいがか
のこっているとしんじられむねにのこした。

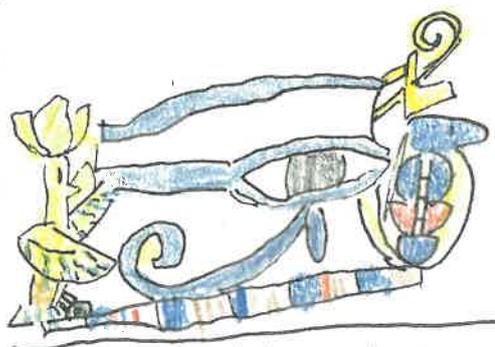
かわかす

40日たってナトロンをとりのぞくと
かわききったミイラになる。

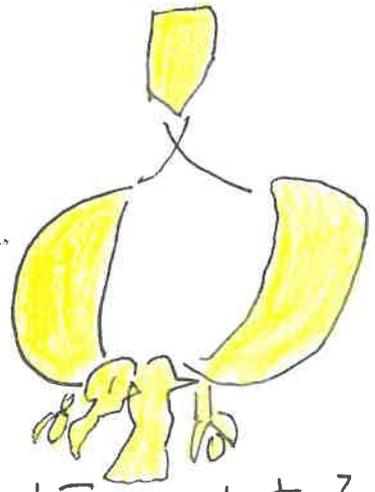
ほごする

あまぬのをぐるぐるとまきつけた。
ほごんじょうたいをよくするため、こ
うゆをかけた。りした。

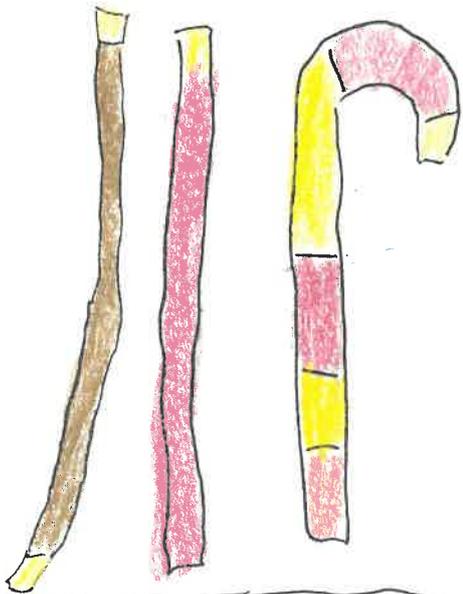
ミイラのツタンカーメンの
ふくそうひん。



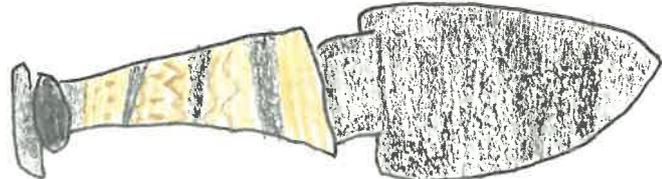
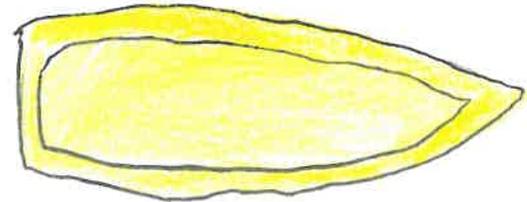
しゅごわけんこう
のシンボソレ
ホルスの目ウジャト



むねにつける
いたじょうの大きな
かざり。



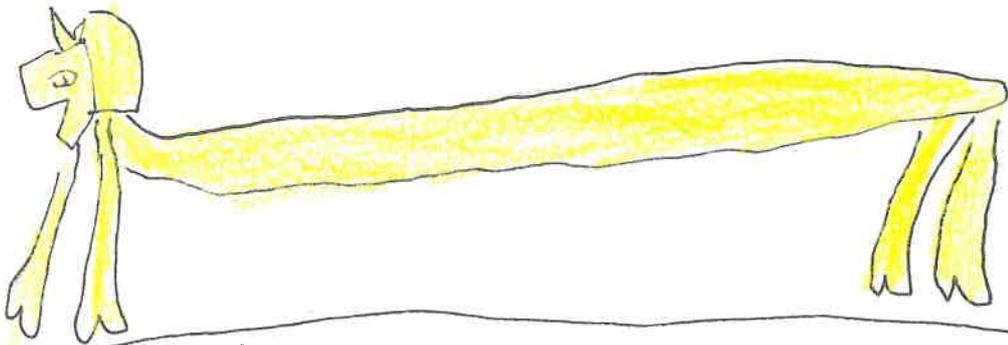
あるくのたへ
びをころすつえ。



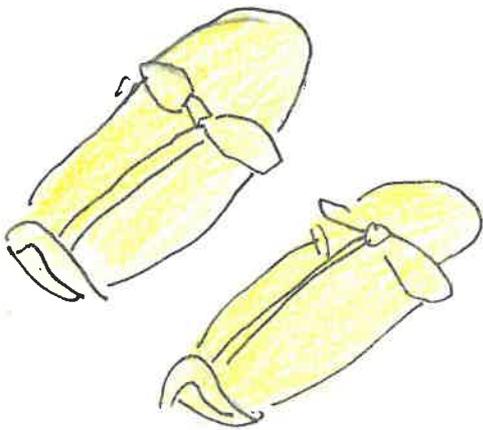
いんせきからつくられた
たたんけん。

ふくそうひん

[2]



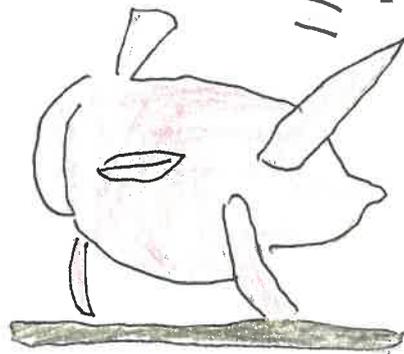
王のさい生をねがうためのぎしきよりのベツト。



サンダル

ツタンカーメンのふくそうひんのサンダルには、そこにきかえがかかれていた。

たべもののミイラ



たべものをミイラにして死後の世かいて食べれるようにした。

ふくろうひん



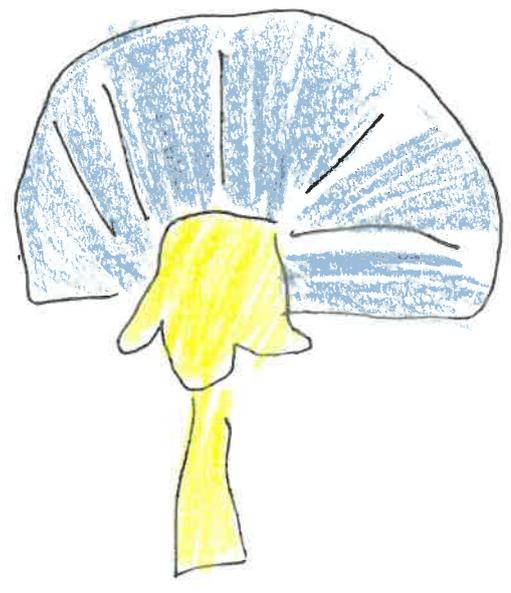
コータス(はす)の花



パピロルスの花



おうごんのきよさ



うちわ

ミイラ 来世の考え方

2

古代エジプト人は、死は人のそんざいは糸冬わりではなく来世への入り口だとしんじていた。そこはしあわせにみちあふれ、「アシの里」^{アシ}とよばれた。人が死んでからアシの里に行くためにはどうすればよいか、エジプトの人はわかっていた。

① 死者の体をミイラにしてのこすひつようがある。死者のたましいがえいえんにのこる場所だからだ。

② 死んだ時に体からはなれたたましいがもどってくるひつようがあった。

ミイラ 来世の考え方②

① 古代エジプトではこのよ
生きているときのたましいをバーという。

② あのよのときのたましいをカアという。



アヌビス
ジャカルの
豆頭部
をもつ死
ミイラづくり
ゆいかいの
かみ。



オシリス
ゆいかい
の王



▲ トト



▲ アミミト

トトの豆頭部を持つ「しんぞうのけいりょうをきろくする書記のかみ」

ワニの頭部をもつ来世にふさわしくないもののしんぞうをたべる。

ぎしき

① くちあけのぎしき。

ミイラの目、耳、はな、口に、しんかんが
 ちょうなをあて、たましいをまねき入れた。

② 心ぞう言十りょうのぎしき。

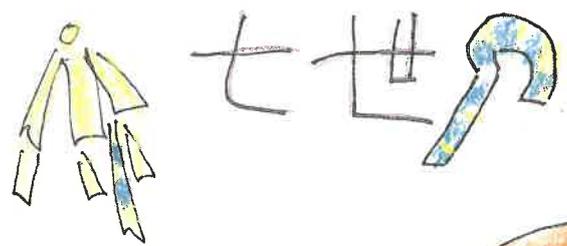
心ぞうは、天びんばかりにのせられ、
 つみをかかえた心ぞうは、おもく、死を

せんこくされる。だが正しい人生をおくって
 きたならえいえんにしあわせにくらせる。

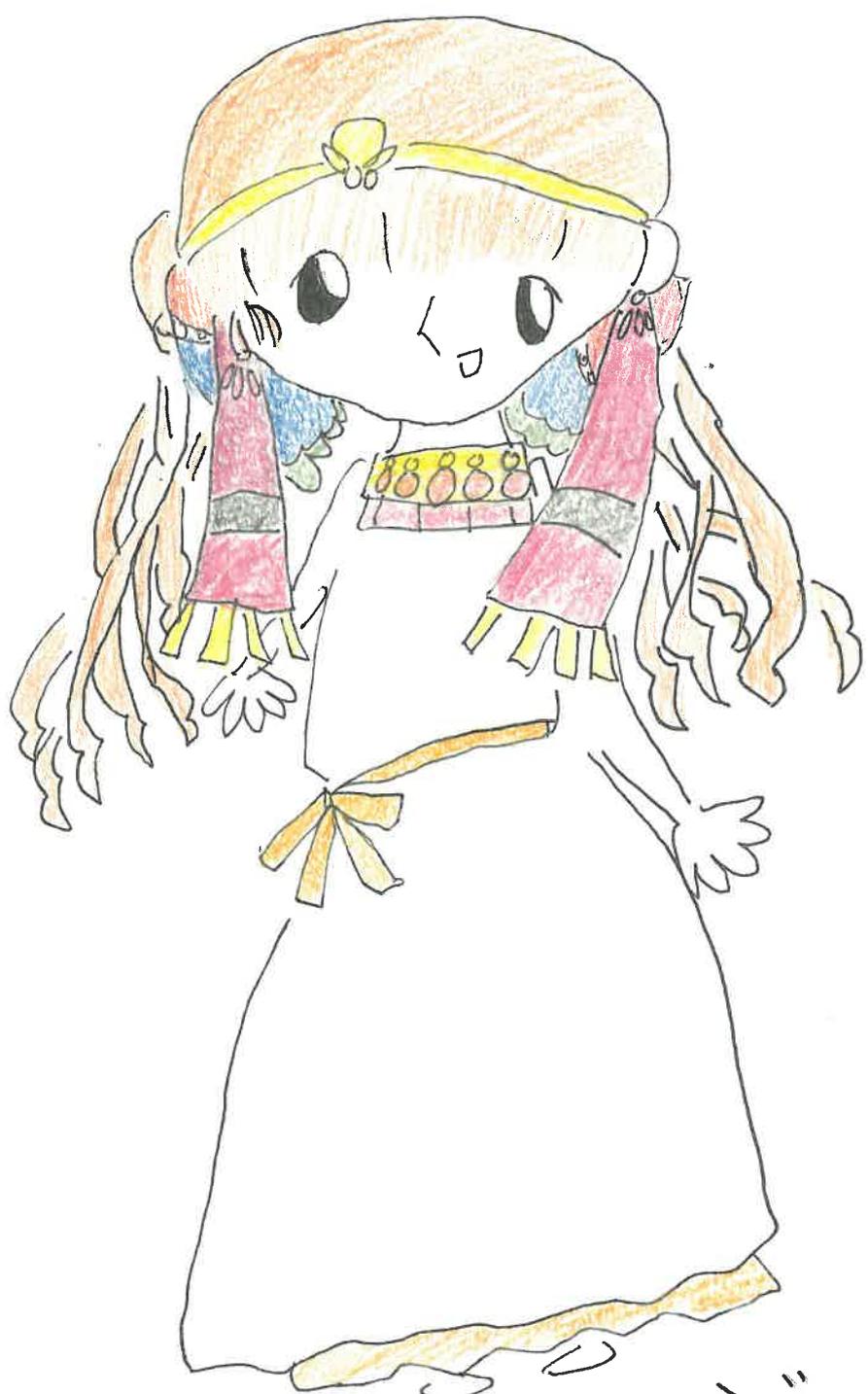
③ 石をなげるぎしき。

ミイラづくりのとき体をさわるのはしつれ
 いなので石をなげる。

人物クレオパトラ ③



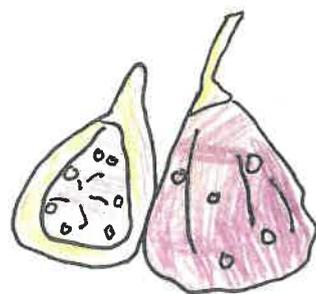
七世



うつくしいエジプトの
さいごの女王

いちじくとクレオパトラ

クレオパトラがさいごじさつする
るとき、ローマぐんにじさつするとは
れないよう、いちじくがはいったかご
の中にコブラをひそま
せていたのです。



いちじくをたべてみた

いちじくをたべてみると、すごくおいし
かったです。中は、プチプチしていてそれ
にもものようなあまさでした。

クレオパトラの人生

父のあとをついて王とな
ったクレオパトラ。弟と

王になったクレオパトラ



はこんするがうらぎられエジ
プトを出ていく。ローマで

カエサルにまけたポンペイウスはエジ

ふたごんのクレオパトラ



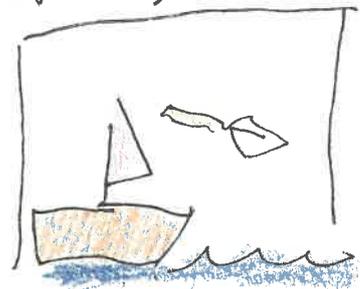
プトにはけるが弟にこ
ろされる。クレオパトラ

はカエサルのいかりをしずめるために

きゅうでんにしのびこむ。カエサルとこい

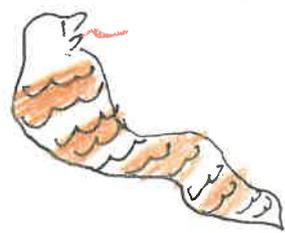
におち子どもがうまれ、弟はカエサル

軍にころされる。



つづき

クレオパトラはべつ。コブラ
 の弟とけっこんし、ふたたび
 び王となる。カイサル
 はあんさつされ、クレオパトラは
 ローマをおさめていたアントニウ
 スとむすばれるが、ローマとのせ
 んそうでつかまりへびにかませ
 てじさつした。



クレオパトラの人生
 糸冬。



ツタンカーメン

3

2番目の人がたの
ひつぎ。



4重の石のひつぎ
と、3重の人がたの
ひつぎにツタンカー
メンのミイラがはいて
いた。

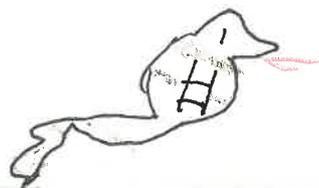
ツタンカーメン

9才で王になって19才で足が
わるくてなくなった。

まとめ

こうこがくにきょうみのある人をふやした
たいのでこのけんきゅうではわかりやすく
せつめいできるようにえをたくさんいれた
り、ぶんしょうをよみやすいようにくふうしま
した。わたしはこうこがくがすきなのでこのけんき
ゅうをよんでこうこがくにきょうみをもってくる
人がふいていっしょにはなしができたらう
れしいです。

糸冬わり



さんこう・いんよう文けんーらん



死者のひみつ 世かいのミイラ

作：マット・ラルフス

絵：ゴールドディ・ライト

やく：やまね れい子

かんしゅう：大えいはくぶつかん わ田 こういちろう

出ばん社：BL出ばん



エジプトのピラミッド

文：フローレンス・マルエホル

絵：フィリップ・ピアール

やく：おかだ よしえ

出ばん社：ひょうろん社



ピラミッド そのれきしと科学

ちょ：かこさとし

出ばん社：かいせい社



ミイラ学 エジプトのミイラしよくにんのひみつ

ちょ・絵：タマラ・パウワー

やく・へん：こどもくらぶ

出ばん社：今人しゃ



小学かんばん 学習まんが人物かん クレオパトラ女王

かんしゅう：こんどうじろう

まんが：かじかわたくろう

出ばん社：小学かん



世かいいさんふしぎいさんたんけん大ずかん WONDER-PAL

出ばん社：小学かん



ピラミッド きよ大な王ほけんせつのなぞをとく

ちょ：デビッド・マコーレイ

やく：：すずきはちし

出ばん社：岩なみ書店

作品の裏面に貼付してください。

【個人提出の場合は記載不要です】

「第13回 高松市 図書館を使った 調べる学習コンクール」 作品応募カード	学校用受付番号 (学校記入欄)	作品番号(事務局記入欄)	
		中・ <u>夢</u> ・牟 国・香	受付No 3
部 門	(□に✓を入れてください。)		
	<input type="checkbox"/> 小学校1・2年生の部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校3・4年生の部 <input type="checkbox"/> 小学校5・6年の部 <input type="checkbox"/> 中学生の部		
タイトル	こだい エジプトのひみつ		
ふりがな 氏 名	おおつき よい 大月 よゐ		
学 校	高松市立 木太 <u>小学校</u> / 中学校 [3] 年生 <small>※作成者が複数の場合は全員の名前を記載してください。</small>		

木太小、大月よゐ (28)